

Aug. : Machinowadai Next

# 注目イベント情報



**青** 森から東京まで東日本大震災の被災地をランニングと自転車で縦断するリレーが銚子にやってきます。復興への想いをたすきでつなぐランナーとサイクリストたちを応援しよう。

SNSで「#1000kmリレー」を付けた応援メッセージも募集中。

**日時** 8月5日(月) 13時10分ころ通過予定

**場所** 椎柴小学校 (中継地点)

**問** 同リレー事務局 ☎03(3451)6107



 銚子の魅力を世界に発信  
いいね♥銚子

**涼** しくてあったかくて絶景とうめえもののおほど！  
銚子の「あんだこれ」な魅力を世界に発信中。あなたも銚子の魅力を #あんだこれ銚子 #wowchoshi をつけて投稿しよう。

**問** 秘書広報課 ☎(24)8823

市公式インスタグラム @choshi\_city

**フォロワー数** 県内自治体中 **第1位!** ※銚子市調べ

もうすぐフォロワー1万人!

銚子の魅力を世界に発信  
#あんだこれ銚子  
#WOWCHOSHI



▶インスタグラムで  
スキャンして  
フォローしてね



江戸時代の銚子沖のイワシを求めて、紀州などからやってきた漁師たちが外川や飯貝根(現在の川口町周辺)に移住して漁業集落ができました。紀州から移住した崎山治郎右衛門が万治元年(1658)に碁盤目状の街づくりをした外川は、江戸の漁業集落の面影を残しています。

イワシは現在同様、江戸時代も銚子で水揚げされる魚の代表格。大量に水揚げされたイワシは食用ではなく関西方面で盛んに栽培された綿花の肥料に最適な干鰯(ほしか)の原料として用いられ、漁港の周辺には「干鰯場」が広がっていました。

また、この頃から、利根川を上り手賀沼を経由し平塚村(現白井市)で荷揚げして松戸を通り、江戸日本橋の魚河岸へとつながる「鮮魚(なま)街道」での輸送が軌道にのりました。飯貝根に水揚げされたタイやスズキも利根川と鮮魚街道を通して江戸へ運ばれました。

江戸への鮮魚の流通経路と水産加工の技術。銚子では江戸時代からすでに現在の水産業の礎が築かれていたのです。国登録有形文化財の旧西廣家住宅(川口町)には、主屋や缶詰工場、納屋が残り、銚子の水産業の歴史を伝えています。

**問** 文化財・ジオパーク室  
☎(24)66662

## 北総 四都市 江戸紀行



JAPAN HERITAGE  
日本遺産



▲旧西廣家住宅納屋  
一般公開 第2・4日曜日 10時~15時30分